

パブリックコメントの取りまとめ結果について

計画等の案の名称	第2期伊豆の国市自殺対策行動計画（案）	
公募期間	令和6年2月10日（土）から令和6年3月8日（金）12時まで	
提出人数	2人	
意見等の件数	7件	
内訳	意見等により修正した件数	3件
	意見等を考慮した上で修正しなかった件数	4件

意見等の概要

1 意見等により修正したもの

1	該当ページ	<u>3ページ</u>	項目 3 SDGs（持続可能な開発目標）との関連
	意見等	文中4行目、“一人一人” → “一人ひとり” に訂正。他の文書に合わせる。	
	修正した理由	表現を統一しました。	
	修正内容		
		修正後	修正前
	一人ひとりの生活を守っていくものであり、		一人一人の生活を守っていくものであり、
2	該当ページ	<u>20ページ</u>	項目 6. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにします
	意見等	基本パッケージ及び重点パッケージに該当する項目を鑑み、文書には「医療、保健、福祉」に加え、“教育”も加えるべきでは。	
	修正した理由	教育との連携も必要であるため、追加する	
	修正内容		
		修正後	修正前
	医療、保健、福祉、教育等の分野の連動性を高めます。		医療、保健、福祉の分野の連動性を高めま
	す。		
3	該当ページ	<u>21ページ</u>	項目 11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進します
	意見等	“対策” → “取り組み” に修正可能か？ 文中3行目及び4行目の“対策”の表記は、“取り組み”に直し、5行目の最後は“様々な分野と連携が必要です。”	
	修正した理由	表現の変更	
	修正内容		
		修正後	修正前
	そのため、家庭、地域、学校などの教育機関や児童福祉関係機関による取組だけでなく、就職後の事業所での対策等も必要になるなど、保健、医療、福祉、教育、労働などの様々な分野との連携が必要です。		そのため、家庭、地域、学校などの教育機関や児童福祉関係機関による対策だけでなく、就職後の事業所での対策等も必要になるなど、保健、医療、福祉、教育、労働などの様々な分野と連携して取り組む必要があります。

2 意見等を考慮した上で修正しなかったもの

4	該当ページ	<u>18 ページ</u>	項目 1 施策体系図 基本パッケージ 基本③ 市民への啓発と周知
	意見等	P10 の第 1 期取組・評価の中でも、基本施策 2 「自殺対策を支える人材の育成及び基本施策 3 「住民への啓発と周知」の実施率が低いまた、未実施のものが見受けられたこと及び P11 の「2. 有職者に対する自殺対策」の文中、職場における対策（ハラスメント対策やメンタルヘルス対策）等々を考えると、「基本パッケージの基本③「市民への啓発と周知」に企業や各種団体（職域）へのアプローチ（表記）が必要ではないか。もしくは、“市民等”の表記にする。	
	市の考え	基本パッケージについては、すべての市町村が共通して取り組むべき事項として共通のパッケージ名を使用しております。ご意見いただいた企業や各種団体（職域）へのアプローチも、市民への啓発と周知の一環として実施していきます。	
5	該当ページ	<u>19 ページ</u>	項目 2 施策の一覧
	意見等	4. 自殺対策に関わる人材を育成します（基本②）から以下の 15. 生活困窮者、無職者、失業者への自殺対策を推進します（重点②）までの各項目の内容を読むと「自殺対策」ではなく「予防」が基本なので、「自殺予防対策」若しくは「自殺予防」の表記の方がよいのでは。併せて、文章中の自殺対策も上記同様にする。 なお、10 民間団体との連携を強化します（基本①）の自殺対策は、そのままでよいと思います。	
	市の考え	自殺を予防することも含め、広義の意味での自殺対策であるととらえるため、自殺対策という表現を使用します。	
6	該当ページ	<u>20 ページ</u>	項目 5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進します
	意見等	力を入れて取り組んでほしいこと。 ・自殺しようとしている人の相談窓口をもっと広めて知らせる。（そんなものがあると知らないから。） ・なぜ、自殺してしまったかを考える。 ・今、生きている人を大切にす。	
	市の考え	自殺対策は、だれにでも起こりうる危機であり、社会的な取組として市全体の取組として推進していくものです。自殺に至る経緯を検証し自殺対策に生かしていくとともに、相談窓口の周知について効果的な手段を検討していきます。	
7	該当ページ	<u>20 ページ</u>	項目 7. 社会全体の自殺リスクを低下させます
	意見等	力を入れて取り組んでほしいこと ・弱者をささえる。 ・無理なことを無理と言える世界づくり（自殺する人に問題があるのではなく、させる世界に問題があると思う。）	
	市の考え	本計画の副題でもある、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざして、各種施策を推進していきます。	